

伊深 まちづくり協議会 だより

第 44 号

・「親子で凧つくり&凧あげ」	1
・地域のトピックス	2
・参加者募集	3
・“しゃべり場”のようす	3
・協議会の動き	4
・名所・旧跡紹介「六部の墓」	4

伊深まち協HPアドレス <http://ibukamachi.com>



「第2回 親子で凧作り&凧あげ」を実施

--- 真冬の青空に連だこが乱舞 ---



伊深の自然を生かし、思いきり外で遊ぼう——と昨年につき「親子で凧つくり&凧あげ」を1月28日(土)に実施し、町内外から15組の参加がありました。今回作ったのは3連の連だこで、最初に好きな絵を3枚描いたあと、講師の委員から説明を受けながら、竹ヒゴや足をセロテープで組み立てていきました。その後、交流センター南の田んぼで、さっそく凧あげに挑戦しました。当日はあまり風は吹いていませんでしたが、ほとんどの凧が抜けるような青空のなか右や左にゆれながら安定してあがっていききました。キラキラ光りながらたくさんの凧が乱舞する光景は壮観とも言えるもので、自分たちで作った凧がうまくあがったことに多くの親子が歓声をあげ、いっぱい伸ばした糸が風に引っ張られる感触を楽しんでいました。なかには子ども以上に楽しんでいる親さんの姿も見られました。

凧あげのあとにはぜんざいのふるまいがあり、「甘さと塩味のバランスがちょうどおいしい」といいながらお代わりをする人が多くいました。

今回のようすはCCネットでも以下の日程で放映されます。ぜひごらんください。

○「ウィークリーみのかも」

平成29年2月6日(月)～2月12日(日)



1.12（木） 元雄勝小教諭を招いて「防災・まちづくり」研修会を開催

当協議会は、伊深小と協力し、元石巻市立雄勝小教諭の徳水博志氏を招いて「防災・まちづくり」研修会を開きました。氏は津波防災教育や復興プロジェクトのほか妻が始められた雄勝ローズファクトリーガーデンを拠点に、震災復興・過疎からの再生という二重の課題を克服する活動を進められています。研修会では復興をめざすまちづくり活動の中で学んだことやガーデンを始めた思いなど私たちのまちづくり活動にも参考となるお話がありました。



1.12（木） 欧州からの派遣研修生が伊深を訪問 ～SNSで魅力を発信～

市とANA総研が進めている協力事業のひとつとして、欧州から派遣された研修生ブルテズ・アンヌさん（フランス アルザス地方出身）が伊深を訪問され、旧伊深村役場や正眼寺、天王用水などを見てまわったほか、民家に上がり込んだり下校途中の小学生と話を交わしたりしました。彼女は昨年10月に来日、1月中は美濃加茂市に滞在し市内各地をめぐりました。そしてSNSなどを通じて各地の魅力を欧州に伝える活動を行っています。



1.24（火） 旧伊深村役場の改修説明会が開かれました

国の登録有形文化財への登録が正式決定し、保存・活用へと大きく踏み出すことになった旧伊深村役場庁舎の改修に関する市の方針説明会が開かれました。説明によれば、「交流」と「賑わい」づくりの場として「カフェ」が予定されており、伊深の案内所としての機能も持たせたいとのこと。国からの交付金決定を経て、予算議決、調査（～4月）、設計（～6月）、事業者募集・決定（～9月）、工事（～来年2月）、オープン（来年4月）という日程が組まれています。



こんなところに伊深シールが ……

昨年11月に作成した伊深のシール。どんなところに貼られているのか取材しました。



自動車の後ろ。代表的な利用法ですね。

これも自動車、軽トラックの後ろです。



こちらはトラクター。

携帯電話のふた。目にする機会が多そうです。



年賀状にも。伊深に縁のある人に出されたそうです。

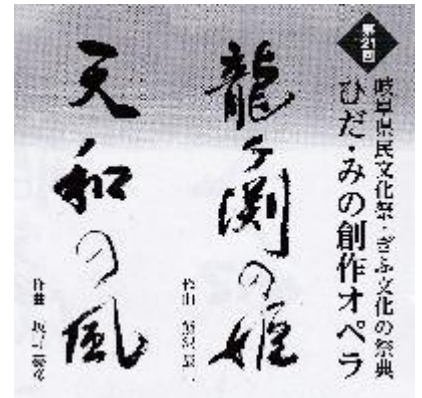
まだまだ、ほかにも「こんなところに」といった使い方があると思います。伊深のPRにつながるような使い方をされている例があれば、HPなどでお知らせください。HP やまち協だよりで紹介していきます。

◆ 参加者募集!! ◆

ひだ・みの創作オペラ「龍ヶ淵の姫」「天和の風」

どちらも伊深の民話・史実にもとづいた演目です。この機会にぜひお出かけください。

- 主 催： (公財) 岐阜県教育文化財団
- と き： **2月11(土)・12(日)** 13:15 開場 14:00 開演
- と ころ： 美濃加茂市文化会館
- 入場料金： 一般 2,000 円・高校生以下 1,000 円 全席自由
- チケット取扱所： 伊深連絡所ほか



他地区への視察研修会を実施します

今年度はコミュニティ施設の運営を主眼に、関市洞戸の「ふれあいセンター」を視察研修します。関心のある伊深住民ならどなたでも参加できます。

- 主 催： 伊深まちづくり協議会
- と き： **2月19(日)** 8:50 交流センター前集合 16:00 解散
- 研修先： 関市洞戸「洞戸ふれあいセンター」
- 研修目的： 地元住民によるコミュニティ施設の運営
- 参加資格： 伊深在住で伊深のまちづくりに関心のある方ならどなたでも (参加費 1,500 円 (昼食費相当))
- 参加申込： 2月10日 (金) までに伊深連絡所 ☎29-1395 へ
- 日 程： 出発 > 洞戸ふれあいC > 昼食 > モネの池見学 > ラステンほらど > 伊深



9:00 10:00~12:00 12:30 13:30 14:30 16:00

「伊深の未来を考えるしゃべり場」のようす

「伊深の未来を考えるしゃべり場」の第5回が1.18(水)に開かれ、これまで話し合ってきた伊深の将来像や、わたしたちにできることを踏まえ、コミュニティ施設に必要な機能やコンセプトなどを検討しました。

第5回「コミュニティ施設のあり方は？」

(1.18 水)

参加者 26 名



今回も5つのグループに分かれ、「必要な機能」と「全体的なコンセプト」は何かをテーマに話し合いました。その結果、「機能」では、調理室、図書・展示スペース、健康づくり、防災施設、トイレ、学習・視聴覚、気軽に立ち寄れるフリースペース、子育て支援・相談などがあげられ、また「コンセプト」としては、「楽しく過ごせる場所」「誰でもが気軽に立ち寄れる憩いの場」「世代間交流ができる場」といった切り口が多くあげられたほか、「あきない、とわない、また来たい」といったフレーズで表現したグループもありました。

しゃべり場は今回で中身の議論は終了し、次回(3.15)は「まちづくり基本構想(案)」のとりまとめ・確認作業となります。

■ 協議会の動き

1 月定例会のあらまし

1.25(水)に開いた1月定例会では主に次のことを協議・検討しました。

● 協議：

1. 1.28(土)「親子で凧作り&凧あげ」について
いまのところ参加人数が定員を下回っているため、前日まで受け付けることとし、当日の役割分担を確認した。
2. 町外研修会の実施について
2.19(日)に関市洞戸のふれあいセンターを視察研修する日程、実施要領を決定し、伊深住民にも参加を呼びかけていくこととした。
3. ひだ・みの創作オペラへの参加呼びかけについて
2.11(土)・12(日)に開かれるオペラへの参加を引き続き広報で呼びかけていく。

● 報告：

- 協議会** 1/12 防災・まちづくり研修会について、1/12 欧州からの派遣研修生訪問について、1/18 しゃべり場⑤について、1/24 旧伊深村役場改修説明会について、加茂野交流センター見学の感想について、3/16 まちカツ発表会実施について、1/24 までの会計状況について など。
- 自治会** 年末夜警対応、出初式などについて。消防団員補充の時期になるが容易でない。
- 体振** 新しいスポーツの希望があれば受け付けたい。
- 伊深小 PTA** 新役員決まった。2/13 にスペシャルあいさつマンデーがある。
- 農業委員** 今年度任期満了する。新制度へ移行することもあり、新委員への交代を進めたい。

伊深の名所・旧跡 紹介シリーズ

第21回 六部の墓 (上切・別所)

別所へ入って右の洞の奥にこの墓はあります。「六部」とは聞き慣れないことばですが、背に仏像を入れた厨子(ずし)を背負い、諸国霊場を巡礼する行脚僧(あんぎゃそう)のことだそうです。あるときこの地を訪れた六部の僧が行き倒れとなり、地元の人たちが手厚く葬ったのがこの墓だそうで、地元の人たちの墓の一画に確かにその墓が残されています。



標柱あり

